

# 国分寺市の 基幹相談支援センターとともに



国分寺市障害者基幹相談支援センター10周年を機に、基幹とこれまで関係を紡いでくださった方々より、メッセージをお寄せいただきました。誠にありがとうございます。

## 石渡 和実

東洋英和女学院大学 名誉教授  
国分寺市障害者地域自立支援協議会 会長



国分寺市障害者基幹相談支援センターの活動は、10周年とは思えないほど、地域への「根づき」といったものを感じさせられます。

国分寺市障害者地域自立支援協議会に参加すると、各委員の皆さまの発言に圧倒されてしまいます。「この立場だからこそ言える！」という発信を、障害があるご本人やそのご家族、支援者と行政、地域の人のだれもが話してください。私自身が納得してしまう話ばかりで、同じ場にご一緒できることに「ただ、ただ感謝！」しています。

基幹相談支援センターが、あらゆる市民を尊重し、また地域を丁寧<sup>ていねい</sup>に耕<sup>か</sup>ってきた成果だと考えます。「人」だけでなく、地域の事業所やスーパー、農家など、組織や機関も見事に育て上げています。国分寺に来るたびに、国分寺のあたたかい雰囲気<sup>きずな</sup>に、わたしの心がなごみます。

これらは、基幹相談支援センターの研修などの成果も大きいでしょうが、一人ひとりの「自分らしく生きたい」を実現しよう<sup>むか</sup>と関係者が力を合わせ、その「つなぎ役」を基幹が確実に果たしてきたのだと思います。

この10周年を機に、新たに登場したイメージキャラクターの「**わぶる**」が、七色のマフラーを編んでいます。基幹相談支援センターの活動そのものだなと心もあたたかくなります。

## 石丸 明子

国分寺市福祉部障害福祉課長



“国分寺市障害者基幹相談支援センター  
10周年に寄せて”

国分寺市障害者基幹相談支援センターを育ててくださった職員の皆さま、事業所や関係機関、市民の皆さまに心より御礼申し上げます。

市と基幹相談支援センターの職員は常に相談、協力しながら、各事業の推進に取り組んできました。

なかでも、相談支援強化の取組には力をいれてきました。基幹相談支援センターが毎月開催する「相談支援事業所連絡会」や、基幹相談支援センターが毎年市内全ての相談支援事業所を訪問することにより、相談支援専門員が気軽に基幹に相談するようになり、困難ケースの会議に基幹相談支援センターと共に参加することが増えました。信頼し合える関係のなか、専門的立場で相談支援専門員を基幹相談支援センターがサポートする体制が出来てきたと感じます。

これからも、基幹相談支援センターの更なる発展に向けて、共に力を尽くしてまいります。

## 伊澤 雄一

社会福祉法人はらからの家福祉会  
前総合施設長  
精神保健福祉部会 前部会長



国分寺市障害者基幹相談支援センター、設置10周年おめでとうございます。

「何をどう取り組んだらよいやら」という、設置当初には迷いに満ちたお話をうかがいました。

あれから10年。大所高所から市域全体を捉え、多彩な研修会のプロデュース、多様な支援連絡会の活性化、国分寺市障害者地域自立支援協議会の機能強化、さらに個別の支援におけるコンサルという緻密さも含め、まさに「ミクロ・メゾ・マクロ」のそれぞれのステージにおいて、地域生活支援が活気づく仕組みづくりにご尽力<sup>ごきんり</sup>いただいております。その姿には矜持<sup>きんじ</sup>と自信が漲<sup>もよほ</sup>っています。

今後とも、「フットワーク」良く、「ネットワーク（編む・紡ぐ）」、さらに「パッチワーク（つなげる・結束・連動）」を通じて、国分寺の大いなる支援ネットワークの創造に、そして「支え合いの街づくり」に寄与<sup>よこ</sup>されますよう、よろしく願いいたします。

## 福山 和女

ルーテル学院大学名誉教授



国分寺市障害者基幹相談支援センター開所10周年記念おめでとうございます。

銀川紀子氏をリーダーとしてスタッフの皆さんが日々進化している姿を、毎年3～4回のコンサルテーションにて、実感してきました。利用者さんやご家族への支援を、真摯に、温かく、熱く、そして忍耐強く取り組んでこられました。個人を取り巻く家族システムに焦点を当て、彼らの尊厳を保持し、これまでの取り組み努力を十分に理解し、なおかつ、今後も取り組み続けられるように支援することの大切さや意義を示してこられました。

この支援の実践には、莫大なエネルギーが必要です。基幹相談支援センターが、組織的に取り組み、メゾレベル以上の成果を出すには、地域全体での多機関協働体制の稼働が必要です。スタッフの皆さんが、システム論を基盤として、専門的知に則り、この協働体制におけるリーダーシップを発揮されること、それが、この相談支援センターが基幹である所以であると思います。

さらに、皆さんが専門家として、利用者さんやご家族と共に伴走して、進化し続ける姿を期待しています。どうぞ、がんばってくださいね。